

2/4 町民体育祭三大会の総合優勝が決定
第19回町民体育祭冬季大会



当初予定していたモルック大会が雨で中止となり、ふらばーるバレー大会のみでの開催となりました。ふらばーるバレーは、変形したボールを使い、相手からの返球は必ずワンバウンドしてからプレーするというのがルール。予想外の方向へ飛んだり跳ねたりするボールに苦戦しながらも、楽しくプレーし、会場は大盛り上がりでした。

● ふらばーるバレー大会結果

優勝	有佐
準優勝	西網道
3位	高塚

● 年間総合表彰

優勝	有佐
準優勝	高野道
3位	高塚・若洲



冬季大会優勝・年間総合優勝の有佐地区館

3/8 希望溢れる未来へ旅立ち
町内中学校で卒業式



竜北中学校と氷川中学校で卒業式が行われました。竜北中学校では、55人の卒業生を代表して松枝 蒼平さんが在校生へのエールや先生や保護者への感謝を伝えながら、「55人との思い出を原動力にこれからも進んでいきたい」と決意を述べました。新型コロナウイルス感染症の影響から在校生や来賓の出席がない入学式を経験した卒業生。今日は出席者の大きな拍手に見送られ、晴れやかな笑顔で学び舎を後にしました。



掲載しきれなかった写真や表紙撮影のオフショットを掲載しています。



八代郡の代表として健闘

1/28 第41回熊日郡市対抗女子駅伝

中学生を中心とした女子チーム。びぶれす熊日会館をスタート・フィニッシュ地点とした7区間28kmで懸命にたすきをつなぎ、他チームに負けないチームワークで健闘しました。



2/11 第50回郡市対抗熊日駅伝

天草市役所からびぶれす熊日会館までの103.3kmを14区間でたすきをつなぎました。19チーム中18位でしたが、前回より13分以上タイムを縮める走りを見せ、次につながる大会となりました。



3/13 い草の産地としての被災地支援

令和6年能登半島地震の被災地へ置き畳を寄贈



1月に発生した令和6年能登半島地震の被災地支援として八代市やJAやつしろと連携して半畳の置き畳5,400枚を寄贈しました。出発式で藤本町長は「私たちは熊本地震で地震の怖さ、辛さを身をもって経験した。被災者の方々には畳のリラックス効果で少しでも安らいでほしい」と今回の支援への思いを述べました。3月15日には町職員が実際に石川県能登町の仮設住宅に置き畳を届けました。仮設住宅は全ての部屋がフローリングのため、置き畳の寄贈は大変喜ばれました。

